

1

みどりの景観づくりの基本をおさえよう

ちょっとした工夫によって、みどりを活かして魅力的な景観をつくる際の基本を紹介します。

みどりの景観づくり6つの基本

身近な場所にみどりをつくろうと思ったとき、どんな樹木や草花を、敷地のどこに、どのように植えたら、魅力的なみどりの景観になるのでしょうか？

ここでは、ちょっとした工夫で、魅力あるみどりの景観づくりに取り組むときに知っておくと役立つ6つの基本を紹介します。

なお、建物の新築・改築時には、「緑化計画の手引き」を参考にみどりの保全と創出を進めてください。

1 高木や壁面緑化などで立体感を出す

目に見える風景の中に、みどりの占める割合が高い場所では、安らぎやうるおい、さわやかさを感じる人が多くなります。

2 みどりの配置や色で明るさを演出する

みどりの色や見え方を工夫することにより、明るさや開放感を演出し、魅力的な景観をつくることができます。

3 アクセントになる花や木を植える

みどりのもつさまざまな色や形が生み出す景観の変化は、単調な景観を魅力的なものにするアクセントになります。

4 季節感のある植物を使う

冬芽や若葉や紅葉、落葉などのみどりの変化が季節の移り変わりを感じさせ、生活にうるおいをもたらしてくれます。

5 まちなみの連続性に貢献するみどりをつくる

隣りあった住宅、店舗や公園、社寺などのみどりをつなげていくことで、まちなみの統一感や連続性が感じられるようになります。

6 みどりの配置や手入れを考える

植物は生長して大きくなるため、隣家の日当たりが悪くなったり交通の支障になったりしないように、剪定などの手入れが必要になります。

このガイドブックで使用する植栽に関する用語の解説

高木…植栽時における高さが3.0m以上の樹木をいいます。

中木…植栽時における高さが1.5m以上3.0m未満の樹木をいいます。

低木…植栽時における高さがおおむね0.3m以上で、地被植物及びつる植物以外のものをいいます。

地被植物…リュウノヒゲ、芝生等のグランドカバーとして地表面をおおって地肌を隠すために植栽する植物の総称で、草丈が低く性質強健な木本・草本の植物をいいます。

草花…多年宿根草（ガーベラやゼラニウム等）、一・二年草（パンジー等）、球根草（チューリップ等）等の分類を問わず、花の咲く草をいいます。

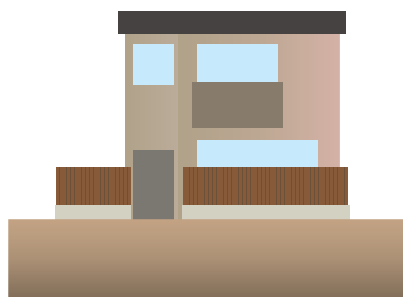
基本の詳細

1

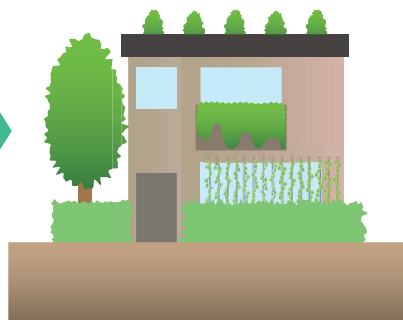
高木や壁面緑化などで立体感を出す

- 高木を植えよう
敷地の広さに余裕がある場合は、建物へのアプローチや庭に、高さ数 m に育つ樹木を植えるとみどりが多く感じられ、魅力的な空間を演出できます。
- 生け垣や壁面緑化でみどりに高さや幅をもたせよう
敷地が狭く、大きくなる木を植えることが難しいときは、生け垣や壁面緑化で高さや幅のあるみどりをつくることで、ボリューム感を高めることができます。また、地被植物で地面をおおうなど、平面のみどりを広げることも効果的です。

Before



After

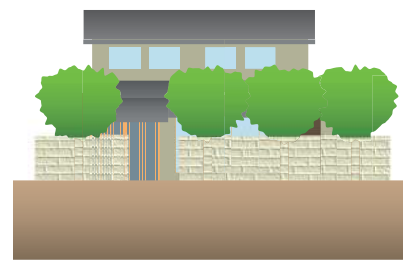


2

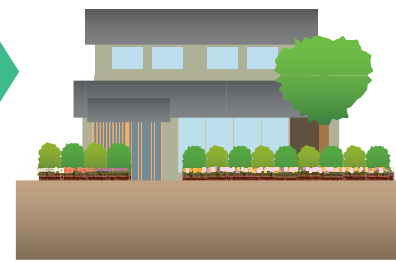
みどりの配置や色で明るさを演出する

- 樹木の間隔や高さの違いを利用して明るさを確保しよう
樹木を植える間隔を広くしたり、高さの異なる樹木を植えたりすることで、日差しが差し込む明るく開放的なみどりをつくることができます。
- 花や葉の色で明るさを演出しよう
色とりどりの花や、斑入りの葉を持つ草木を用いることで、みどりが一層華やかで明るいものになります。

Before



After



3

アクセントになる 花や木を植える

● シンボルとなる樹木を植えよう

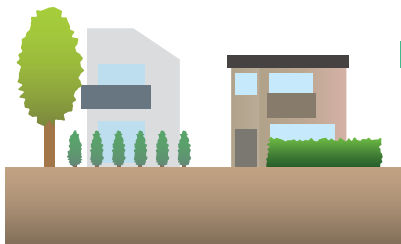
庭先や玄関脇に、大きな木や、花や葉の色が目立つ木、果樹など、シンボルとなる樹木があると、景観にメリハリが生まれます。

新たに木を植えるだけでなく、既存の大きな樹木をシンボルとして活かすこともできます。

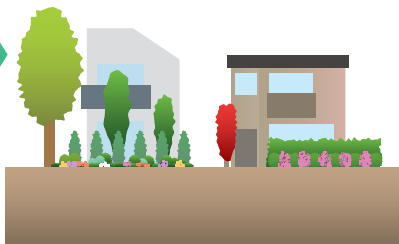
● 色や形、高さで変化を付けよう

花や樹皮の色が違う植物を使う、高木と中低木を組み合わせる、生け垣の刈り込みの高さに変化をつける、香りや葉のこすれる音を感じられる植物を使うなど、色や形などの違う多様なみどりにより、まちなみに変化を生み出すことができます。

Before



After



4

季節感のある植物を使う

● 落葉樹と常緑樹を組み合わせる

春から初夏にかけての新緑、秋の紅葉、冬の落葉と姿を変える落葉樹を植えると、四季の変化を楽しめます。また、冬も緑の常緑樹や冬に咲く花を一緒に植えることで、冬もみどりの彩りを楽しむことができます。

● 花や実のなる植物を植えよう

春夏秋冬、それぞれの季節に花の咲く植物を植えることで、四季の移り変わりを感じることができます。

また、実のなる植物も、その実を食べに訪れる野鳥とともに、季節を感じさせてくれます。

